

りゅうがく館だより

令和8年7月



「第72回青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書を展示しています。



短歌・俳句・川柳コンクールの募集が始まります。
皆様のご応募をお待ちしております。

※講座紹介※



講 師：南 隆光先生
活動日：第2土曜日
14：00～16：00
初心者歓迎。仲間づくりと
毛筆技能の向上を目指しま
す。



講 師：泉 和子先生
活動日：第2土曜日
14：00～16：00
郷土菓子の背景文化を学びな
がら楽しく作りましょう。

お知らせ

本を日当たりの良い場所に置いておくと、日焼けして表紙の色が褪せたり、紙の色が茶色くなってしまいます。本の保管場所には日光の届かない場所をお選びくださいますよう、お願いいたします。

《一般書》

- 『あなたはなぜ雑談が苦手なのか』（桜林 直子/新潮社）
- 『いちばんわかりやすいパニック症』（坂元 薫/河出書房新社）
- 『13歳からの戦争学』（小川 和久/アスコム）
- 『鶏が主役！超たんぱくめし』（加藤 超也/主婦の友社）
- 『ウチの子の、結婚相手が見つからない!』（石川 結貴/文藝春秋）
- 『世界99 上』（村田 沙耶香/集英社）
- 『英米文学のわからない言葉』（金原 瑞人/左右社）
- 『NHKをぶっ壊すと言ったけどそれだけじゃないんです。』（浜田 聡/総合教育出版）
- 『なんにもしない。「余白」という最高の習慣』（マツダ ミヒロ/すばる舎）
- 『実つきがよくなるはじめての熱帯果樹』（三輪 正幸/家の光協会）
- 『絶望の凶弾』（読売新聞大阪本社取材班/中央公論新社）
- 『照明と家具からはじめる北欧インテリア』（行正 り香/講談社）
- 『琉球の貝塚文化』（山崎 真治/新泉社）

他

《児童書》

- 『気持ちをあらわすことばの辞典 名作であうことばの宝箱』（白坂 洋一/ポプラ社）
- 『君にとって最高の幸せってなに？イチから考える哲学のふしぎ』（清水 将吾/汐文社）
- 『みんなの図書館』（野口 武悟/小峰書店）
- 『「もしも」のときの防災ずかん』（菊池 真以/オレンジページ）
- 『たなばたねがいごとかいたのだあれ?』（ねぎし れいこ/世界文化ワンダーグループ）
- 『おれたちゃブルースマン♪』（おおなり修司/絵本館）
- 『わたしのbe 書くたび、生まれる』（佐藤 いつ子/KADOKAWA）
- 『なにでもないもん』（少年アヤ /岩崎書店）
- 『きいろいバス』（ローレン ロング/あすなろ書房）
- 『たねはいのちのおわりとはじまり』（鈴木 純/ブロンズ新社）
- 『リュウグウの砂に挑む』（伊藤 元雄/くもん出版）
- 『おいしいお米をつくりたい! ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました』（谷本 雄治/汐文社）
- 『1分でなるほど!給食に出てくるきせつの食べものずかん』（松丸 奨/ポプラ社）

他

今月のおすすめ本

『車いすとハイヒール 脳性麻痺の双子とおかんの暮らしは山あり谷あり笑いあり』（関本 里絵/小学館）

男の子の双子を出産後、彼らに脳性麻痺があることがわかります。障がいを抱えた息子たちと自分の3人家族で、どうやって生きていけばいいのか…。悩み、戸惑い、そしてもがく「おかん」の姿と双子君たちのやりとりは、ときに過激、ときにほっこり、そして最後はうるっと涙の子育てエッセイです。



『みんなの図書館 図書館って、どんなところ?』（野口 武悟/小峰書店）
図書館の種類とそれぞれの特徴、日本の図書館の歴史、さらに日本と世界の有名図書館の紹介を通して、図書館の本来の役割や図書館が子どもたちにとってどんな場所なのかを解説しています。

